

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】令和2年6月11日(2020.6.11)

【公開番号】特開2018-191589(P2018-191589A)

【公開日】平成30年12月6日(2018.12.6)

【年通号数】公開・登録公報2018-047

【出願番号】特願2017-99133(P2017-99133)

【国際特許分類】

A 01 K 89/0155 (2006.01)

【F I】

A 01 K 89/0155

【手続補正書】

【提出日】令和2年4月15日(2020.4.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

スプール軸及びハンドルの回転に応じて回転するスプールを有し、釣り糸を前方に繰り出し可能な両軸受リールであって、

第1側板、前記第1側板と前記スプール軸の軸方向に間隔を隔てて設けられた第2側板、及び前記第1側板と前記第2側板とを連結する連結部、を有するリール本体と、

前記リール本体の第1側板側を覆うようにして配置され、前記第1側板よりも前記軸方向外側に位置するカバー部、前記カバー部から前記軸方向外側に膨出する膨出部、前記カバー部と前記膨出部とを接続する段差部、及び前記膨出部から前記軸方向外側に突出して形成され前記スプール軸が挿通する第1ボス部、を有するカバー部材と、

前記カバー部材の前記段差部内に配置された軸受と、

一端が前記軸受に回転可能に支持されたピニオンギアと、

前記軸方向に移動可能に前記第1ボス部に装着されるとともに前記軸方向から見たとき外周の一部が前記膨出部から突出する操作部材を有し、前記操作部材の前記軸方向の移動によって前記スプールに作用する制動力を調整するキャスティングコントロール機構と、を備えた、

両軸受リール。

【請求項2】

前記段差部は、前記カバー部から前記膨出部に近づくにしたがって、前記操作部材に近接する部分が前記スプール軸の軸心に近づく方向に傾斜する傾斜部を有する、

請求項1に記載の両軸受リール。

【請求項3】

前記傾斜部は、前記軸方向から見たとき円弧状に延びて形成されている、

請求項2に記載の両軸受リール。

【請求項4】

前記操作部材は、内周部が前記第1ボス部の外周部に回動可能に装着された有底筒状の回動部材であり、小径部と、前記小径部の外径よりも大径かつ前記小径部よりも前記軸方向外側に形成され、前記軸方向から見たとき外周の一部が前記膨出部から突出する大径部と、を有する、

請求項1から3のいずれか1項に記載の両軸受リール。

**【請求項 5】**

前記カバー部材は、前記第1ボス部よりも前方で前記膨出部から前記軸方向外側に突出する第2ボス部をさらに有し、

前記第2ボス部を前記軸方向に貫通する駆動軸をさらに備えた、  
請求項1から4のいずれか1項に記載の両軸受リール。